



JASDAQ

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス
 コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 三森 久実
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 松岡 彰洋 (TEL) 0422(26)2600
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,836	9.6	25	△69.2	16	△83.9	△62	—
26年3月期第1四半期	5,326	11.0	83	193.8	103	275.1	27	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △74百万円(—%) 26年3月期第1四半期 71百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△8.75	—
26年3月期第1四半期	3.84	3.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	9,968	3,989	39.7
26年3月期	10,305	4,216	40.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,959百万円 26年3月期 4,188百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	20.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,450	13.4	265	9.1	260	1.2	25	19.0	3.50
通期	25,600	10.3	830	9.9	800	2.3	280	40.0	39.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 新規 社(社名)、除外 社(社名) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	7,181,000株	26年3月期	7,180,000株
27年3月期1Q	137株	26年3月期	137株
27年3月期1Q	7,179,907株	26年3月期1Q	7,179,863株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の中期)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権の金融緩和をはじめとする経済対策の効果から、企業業績の回復や雇用情勢の改善など明るい兆しがみられた半面、消費税増税前の駆け込み需要や国際紛争等の影響の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、消費税増税後も比較的堅調に推移しておりますが、食材価格の高騰、エネルギー・コストの上昇や人手不足等から、経営環境は引き続き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、国内・海外合計500店舗体制への基礎作り中間期と位置づけ、店舗ネットワークの充実、店舗価値のさらなる向上を図り「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、成長のための施策を実施しております。

当第1四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきましては、ショッピングセンターへの出店を中心に「大戸屋ごはん処」直営2店舗、フランチャイズ6店舗を新規に出店し、海外におきましては、「大戸屋ごはん処」フランチャイズ店を台湾で1店舗、インドネシア共和国で2店舗、新規に出店いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間中に合計11店舗を出店したため、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で391店舗（うち国内直営147店舗、国内フランチャイズ167店舗、海外直営11店舗、海外フランチャイズ66店舗）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、食材価格、人件費及び水道光熱費の上昇の影響もあり、売上高は5,836百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益25百万円（同69.2%減）、経常利益16百万円（同83.9%減）となり、国内における既存店舗の改装に係る固定資産除却損22百万円を特別損失に計上し、法人税等合計が38百万円となったため、四半期純損失は62百万円（前年同期は27百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」2店舗（ビーンズ戸田公園店、ポンテポルタ千住店）の新規出店があり、また、2店舗（赤坂通り店、本八幡南口店）の閉店がありました。また、国内直営事業でありました4店舗（中目黒店、府中北口店、和戸店、JR琴似店）が国内フランチャイズ事業となりました。

これにより、当第1四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」144店舗、「おとや」等他業態3店舗の総計147店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は3,571百万円（同3.2%増）、営業利益34百万円（同48.6%減）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」6店舗（イオン南風原SC店、横浜馬車道店、パークプレイス大分店、上越大日店、イトーヨーカドー小手指店、鳴子店）の新規出店がありました。また、4店舗（中目黒店、府中北口店、和戸店、JR琴似店）について国内フランチャイズ事業としました。

これにより、当第1四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」167店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,698百万円（同18.2%増）、営業利益237百万円（同20.4%増）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第1四半期連結会計期間末現在、11店舗（香港大戸屋有限公司が香港に4店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に2店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗、大戸屋（上海）餐飲管理有限公司が中国上海市において1店舗）稼働しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は457百万円（前年同期比32.4%増）、営業損失83百万円（前年同期は55百万円の営業損失）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第1四半期連結会計期間末現在、66店舗（タイ王国において40店舗、台湾において18店舗、インドネシア共和国において8店舗）を展開しておりますが、前連結会計年度に大戸屋（上海）餐饮管理有限公司を連結子会社化したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は74百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益16百万円（同28.9%減）となりました。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であり、当第1四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Y フィールがメンテナンス事業を、株式会社O T Y 食ライフ研究所が食育事業等を、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD.（平成25年10月1日付でOOTOYA (THAILAND) CO., LTD. から商号変更）が当社のプライベートブランド商品（焼魚に使用する魚の加工品）に係る品質管理事業をタイ王国で行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は34百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比520.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金1,807百万円を主なものとして3,295百万円（前連結会計年度末比10.5%減）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産4,207百万円と敷金及び保証金1,750百万円を主なものとして6,672百万円（同0.7%増）であり、資産合計では9,968百万円（同3.3%減）となりました。これは主に、現金及び預金が減少したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、借入金1,493百万円、買掛金902百万円及び未払金655百万円を主なものとして3,750百万円（前連結会計年度末比3.4%増）、固定負債は、長期借入金832百万円を主なものとして2,227百万円（同9.5%減）であり、負債合計では5,978百万円（同1.8%減）となりました。これは主に、借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は3,989百万円（前連結会計年度末比5.4%減）となり、自己資本比率は39.7%となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、国内外の景況感は引き続き厳しい状況が予想されますが、現時点では平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が16,855千円増加し、利益剰余金が10,657千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,186,369	1,807,639
売掛金	791,646	722,587
原材料及び貯蔵品	66,192	75,903
その他	636,362	689,655
流動資産合計	3,680,570	3,295,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,822,791	2,789,583
工具、器具及び備品(純額)	1,112,367	1,104,854
その他(純額)	282,413	312,963
有形固定資産合計	4,217,572	4,207,400
無形固定資産		
のれん	16,824	13,652
その他	75,246	70,117
無形固定資産合計	92,071	83,769
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,707,901	1,750,842
その他	607,777	630,525
投資その他の資産合計	2,315,678	2,381,367
固定資産合計	6,625,322	6,672,537
資産合計	10,305,893	9,968,324

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,040,672	902,102
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	995,808	993,508
リース債務	180,168	186,140
未払金	801,746	655,283
未払法人税等	264,055	14,612
賞与引当金	57,072	27,420
店舗閉鎖損失引当金	1,660	1,518
その他	286,988	470,152
流動負債合計	3,628,171	3,750,738
固定負債		
長期借入金	1,079,248	832,596
リース債務	388,291	377,435
退職給付に係る負債	236,532	254,665
資産除去債務	302,206	300,489
その他	454,615	462,809
固定負債合計	2,460,893	2,227,996
負債合計	6,089,065	5,978,734
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,465,024	1,465,530
資本剰余金	1,383,224	1,383,730
利益剰余金	1,278,233	1,061,126
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,126,361	3,910,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,319	15,174
為替換算調整勘定	61,923	45,448
退職給付に係る調整累計額	△12,194	△11,254
その他の包括利益累計額合計	62,048	49,368
新株予約権	1,347	1,372
少数株主持分	27,070	28,583
純資産合計	4,216,828	3,989,589
負債純資産合計	10,305,893	9,968,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,326,072	5,836,830
売上原価	2,240,537	2,525,949
売上総利益	3,085,535	3,310,880
販売費及び一般管理費	3,002,274	3,285,225
営業利益	83,260	25,655
営業外収益		
受取利息	311	370
受取配当金	471	43
協賛金収入	8,965	8,357
為替差益	29,556	—
その他	4,547	4,374
営業外収益合計	43,852	13,145
営業外費用		
支払利息	14,691	11,288
為替差損	—	10,816
持分法による投資損失	8,682	—
その他	302	8
営業外費用合計	23,676	22,112
経常利益	103,436	16,688
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	1,034	22,111
減損損失	—	13,535
店舗閉鎖損失	—	2,149
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	1,518
特別損失合計	1,034	39,315
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	102,402	△22,627
法人税等	65,542	38,458
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	36,859	△61,086
少数株主利益	9,307	1,766
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,552	△62,852

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	36,859	△61,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,014	2,855
為替換算調整勘定	30,465	△16,729
退職給付に係る調整額	—	939
持分法適用会社に対する持分相当額	5,270	—
その他の包括利益合計	34,722	△12,934
四半期包括利益	71,581	△74,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,763	△75,533
少数株主に係る四半期包括利益	9,818	1,512

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,462,401	1,436,746	345,380	75,975	5,320,503	5,568	5,326,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	77,404	77,404
計	3,462,401	1,436,746	345,380	75,975	5,320,503	82,972	5,403,476
セグメント利益又は損失(△)	67,272	197,572	△55,275	23,514	233,083	8,835	241,919

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	233,083
「その他」の区分の利益	8,835
セグメント間取引消去	△21,286
全社費用(注)	△137,372
四半期連結損益計算書の営業利益	83,260

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,571,603	1,698,776	457,360	74,539	5,802,280	34,550	5,836,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	85,935	85,935
計	3,571,603	1,698,776	457,360	74,539	5,802,280	120,485	5,922,765
セグメント利益又は損失(△)	34,583	237,959	△83,492	16,729	205,779	3,619	209,398

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	205,779
「その他」の区分の利益	3,619
セグメント間取引消去	△20,577
全社費用(注)	△163,165
四半期連結損益計算書の営業利益	25,655

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。